

先進地域との交流で

地域の挑戦を加速させる。



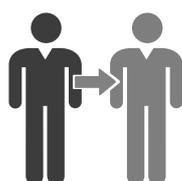
BRIDGE

まちづくりコース

2回のフィールドワークで、地域課題に先進的な手法でチャレンジしている地域から、そのノウハウを学ぶプログラムです。金銭面・運営面・地域との関係性など、地域では欠かせない要素をクリアしながら地域課題を解決してきた地域の師匠から、事業のノウハウ、その裏側、どんな仕掛けをどのタイミングで、何を狙って実施してきたのか、学ぶことができます。

ープログラムの流れー

1 先進地域へ視察に行く

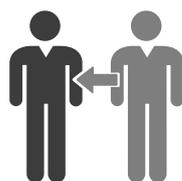


参加者 師匠

先進地域のフィールドを訪れ、活動現場を実際に見て、そのノウハウや事業・組織体制、具体的な手法を学び、

自地域でどのように取り入れられるか考えます。

2 自地域へ来てもらう！

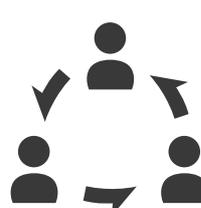


参加者 師匠

自地域に先進地域の仕掛け人を招きます。活動現場を見てもらいアドバイスをもらう、住民に向けた講演会をし

てもらうなど、地域にあったフィールドワークを設計します。

3 「報告会」今後の動きを設計する！



フィールドワークでの学びを活かし、自地域で今後どのような動きをしていくか、プランを発表し、フィード

バックをもらうことでさらにブラッシュアップします。

-BRIDGE まちづくりコース 2015-

対象となる方

自地域に現場を持ち、活動を行っている団体のリーダー、スタッフの方
活動をしている地域の課題を解決するための新たな視点を求めている方
※自地域に戻れたときにより学びを活かした活動ができるよう、チーム・複数人での参加を推奨しております。

参加条件

下記スケジュールの全行程に参加できること

定員

30名 エントリーめ切 11月6日(金) 19:00まで

参加費

1人 50,000円(税込) ※下記スケジュールの中で、フィールドワーク [1] への渡航費、宿泊費は事務局で負担いたします。
(それ以外の交通費宿泊費等をご負担下さい。)

FW1. 先進地に視察に行く!

移住者半数が地域で起業! 起業家予備軍を呼び込み、育てる土壌づくりを学ぶ。



石徹白地域づくり協議会
岐阜県・石徹白

FW1. 11.21-11.23

小規模なエネルギー開発から住民『まちづくり』の意識を高め、起業よそ者と地元民がともに地域づくりに取り組んでいます。

加入率100%! 全世帯が加入するまちづくり NPO から新しい積極的住民自治を学ぶ。



NPO 法人きらり
よしまネットワーク
山形県・川西町

FW1. 11.19-11.21

人づくり・財源確保・住民同士のネットワークと合意形成が定着していることが特徴的で、多くの若者が事業に参画しています。

アーティスト・イン・レジデンスの先進地から学ぶ。アーティストに選ばれる地域づくりとは。



NPO 法人おおよアート村
兵庫県・大屋

FW1. 11.17-11.19

行政と NPO が連携し、地域全体を巻き込んで活動し、古民家再生や、廃校を活用した創作活動の支援などに取り組んでいます。

年間 5 万人を受け入れる民泊事業のノウハウを学ぶ! 島に帰ってきたくなる仕組みとは。



沖縄県伊江村役場
沖縄県・伊江村

FW1. 11.20-11.22

2002年に伊江島へ移住。観光集客や地域イメージの向上を目指し、様々な企画を運営。民家体験泊事業の組織体制づくり、PR 活動を行う。

FW2. 自地域へに来てもらう!



平野彰秀氏

FW2. 1.31-2.1

石徹白地区の小水力発電の導入を提案。様々な活動を行う地域のキーパーソンを結び付け、地域全体を組織として運営するコーディネート役を担う。



高橋由和氏

FW2. 1.22-1.24

地域づくりのシステムを根本から見直し、住民ワークショップを取り入れた地域の合意形成を推進。地域課題を解決する持続可能なまちづくりに挑む。



田中今子氏

FW2. 1.18-1.20

自身も芸術家として大屋町へ I ターンしており、地域活動の拠点づくりを推進。「よそ者」だからできる、行政・住民・移住者のつなぎ役として活躍中。



松本壮氏

FW2. 1.29-1.31

年間 5 万人の修学旅行生が地域に入り、民泊が村の一大産業となっています。また農産物等の販売につながるなど、村の隅々まで波及しています。

報告会 2月26日(金) 14:00~18:00 (日本財団ビル)

先進地域の取り組みを「観」に行き、自分たちの地域を「診」てもらい得た学び・ノウハウをこれから自地域でどう活かしていくのか発表していただきます。

-----プログラムのゴール-----

- ・学びを元に、自地域で事業を展開していく上での資金調達の方法、実施のノウハウ、巻き込む人など具体的にイメージ・設計する。
- ・受入地域・他の参加者と、プログラム修了後も意見交換し合えるような関係性をつくり、学び合えるコミュニティを築き上げる。